

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33504	インテリアデザイン Interior Design	鈴木 光太	専門	1	選択	1・2年 後期
科目の概要						
人が住まう空間、使う道具など、立体系のデザインは、適切なヒューマンスケール(身体寸法)を捉えてデザインしなければ、心地よい生活の場を創り出すことはできない。そのヒューマンスケールを、立体系のデザイン要素が全て詰まった椅子を題材に、原寸大の段ボールの椅子のデザインで学ぶ。						
学修内容			到達目標			
① 心地よいヒューマンスケール感覚を磨く。 ② 人間工学の基礎を学ぶ。 ③ ユニバーサルデザインの基礎を学ぶ。 ④ 段ボールの椅子のデザインと製作をする。			① ヒューマンスケールを意識できるようになる。 ② 人間工学をと入り入れたデザインができる。 ③ ユニバーサルデザインの内容を説明することができる。 ④ 学習した内容を踏まえた椅子を創出できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	必要な知識・考え方について、教科書・文献などを使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	責任を持って課題をやりきることができる。				
考え抜く力	課題発見力	人間の行動や日常を観察し、課題を見極めることができる。				
	計画力	期限内に作品を完成させることができる。				
	創造力	固定概念にとらわれることなく、物事を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	相手に伝える工夫をして発表できる。				
	傾聴力	人の意見を把握し、自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題の未提出、未発表など、授業に支障を来す行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:なし 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
SKILL(技術)より WILL(意志)			課題製作に使う工具類は各自持参すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓	(発信力) ・4週～8週の内容について、試作での成果発表を行う。
		②	✓	・間プレゼンテーションの成果(20点)
		③	✓	・10週～14週の内容について、実物作品での成果発表を行う。
		④	✓	・終プレゼンテーションの成果(20点)
作品	50	①	✓	(実行力)(計画力)(創造力)
		②	✓	・品の完成度
		③	✓	く丁寧 50点、高い 30点、工夫がある 20点、努力が必要 10点)
		④	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)
		②	✓	・必要な知識・考え方について、教科書・文献などを使って自己学修をすることができる。
		③	✓	(実行力)
		④	✓	・責任を持って課題をやりきることができる。
				(課題発見力)
				・人間の行動や日常を観察し、課題を見極めることができる。
				(創造力)
				・固定概念にとらわれることなく、物事を考えることができる。
				(発信力)
				・相手に伝える工夫をして発表できる。
				(傾聴力)
				・人の意見を把握し、自分の意見を述べるすることができる。
				(規律性)
				・遅刻、欠席、学習意欲欠如が見られる場合は5点を減点する。
				・課題の未提出、未発表が見られる場合は5点を減点する。
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
成果発表・作品において、ヒューマンスケール、素材の特性を活かし、高く丁寧な完成度であること。	成果発表・作品において、デザインに工夫が見られ高い完成度であること。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	インテリアの心地よいヒューマンスケール画像説明、課題説明	講義	事例に挙げたヒューマンスケール、パーソナルスペースを説明できる	(復習)通学中などに、パーソナルスペースを体感する。	45	創造力
2週 /	人間工学の基礎についてメジャーを用いて計測し学ぶ	講義	人間工学から、空間・モノを把握し体感できる。	(復習)自宅の家具を計測し、どのようなサイズか考察する。	90	主体性
3週 /	ユニバーサルデザインについて学内を観察して学ぶ	講義	学内でのユニバーサルデザインを発見できる。	(復習)通学中にあるユニバーサルデザインを発見する。	45	課題発見力
4週 /	椅子の説明、段ボールの特性の説明	講義、実習	椅子の構造、素材の特性を理解し、デザインに活かすことができる。	(復習)様々な椅子の座り心地を体感する。	90	実行力 創造力
5週 /	アイデアスケッチ 1 椅子のアイデア展開をする	実習、作業中助言	前週までを踏まえ、アイデアを展開できる。			実行力 創造力
6週 /	アイデアスケッチ 2 椅子のアイデア展開をする	実習、作業中助言	前週までを踏まえ、アイデアを展開できる。			実行力 創造力
7週 /	試作モデル 1 アイデアをペーパーモデルで把握する	実習、作業中助言	具体化したアイデアを立体で確認できる。			主体性 実行力 創造力
8週 /	試作モデル 2 アイデアをペーパーモデルで把握する	実習、作業中助言	具体化したアイデアを立体で確認できる。	(予習)試作作品、プレゼン資料を用意してくる。	180	主体性 実行力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	中間プレゼンテーション 試作モデルをもってプレゼンテーションする	作品説明、講評	社会人として分かりやすくプレゼンテーションができる。			発信力 計画力 傾聴力 規律性
10週 /	ブラッシュアップスケッチ プレゼンテーションのアドバイスをもとにアイデア展開をする	実習、作業中助言	中間プレゼンテーションを踏まえ、ブラッシュアップ展開できる。	(予習)段ボールの必要サイズなどを考えながらアイデアをまとめる。	45	主体性 実行力 創造力
11週 /	最終デザインモデル 1 最終デザインを段ボールで作る	実習、作業中助言	ブラッシュアップしたデザインを具現化できる。			実行力 創造力
12週 /	最終デザインモデル 2 最終デザインを段ボールで作る	実習、作業中助言	ブラッシュアップしたデザインを具現化できる。			実行力 創造力
13週 /	最終デザインモデル 3 最終デザインを段ボールで作る	実習、作業中助言	ブラッシュアップしたデザインを具現化できる。			実行力 創造力
14週 /	最終デザインモデル 4 最終デザインを段ボールで作る	実習、作業中助言	ブラッシュアップしたデザインを具現化できる。	(予習)最終作品、プレゼン資料を用意してくる。	180	実行力 創造力
15週 /	最終プレゼンテーション 最終デザインモデルをもってプレゼンテーションする	作品説明、講評	社会人として分かりやすくプレゼンテーションができる。			発信力 計画力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力